

令和4年度 第1回 新潟市男女共同参画推進センター運営委員会 議事概要

日 時： 令和4年7月7日（金） 午後1時30分～3時30分

場 所： 新潟市万代市民会館 307・308 研修室

出席者： 新潟市男女共同参画推進センター運営委員

石原委員、塩沢委員、高橋委員、多田委員、田中委員、永田委員
事務局（男女共同参画課）

笹川課長、土沼課長補佐、竹田課長補佐、三間主査

団体

「劇団 blue ジーンズ」小池代表

「新潟市消費者協会新潟支部」和田支部長、本間副支部長、田村理事

「ファザーリング・ジャパンにいがた」吉田代表

「わいわい夢工房」大橋代表

1 開会

2 男女共同参画課長あいさつ

3 運営委員・男女共同参画課職員紹介

4 令和4年度アルザにいがた活動予定について

5 男女共同参画市民団体協働事業審査

(1) 「創作劇 水から風の女たちの事情 ～ありふれた日常の一日より～（仮題）」（劇団 blue ジーンズ）の審査

（ 団 体 ） 事業概要説明

（塩沢委員） 作成するDVDの内容は演劇そのものか。また、DVDの具体的な使用例があれば教えてほしい。

（ 団 体 ） DVDの内容は演じている中身そのもので、特に編集はしない。DVDは広報活動に使用するもので、昨年、三条市から過去の作品も見せてほしいと依頼があり、過去の作品を紹介した。

（高橋委員） 16年前から女性問題をテーマに行っているが、この事業に応募したのは市の助成があるからか。

（ 団 体 ） 今年で16年やってきているがこの協働事業に採用されたのは2017年と2019年～2021年の4回。今年で5回目になるが、その前は受けていない。この協働事業の趣旨に賛同して、応募している。

（田中委員） 毎年、テーマが変わっているが、16年前の課題が少しは改善されてきているのか、あるいは変わっていないのか、認識を教えてください。

（ 団 体 ） 少しはよくなっていると思う。創作劇の内容は毎年、変えている。どんなことが起きているのかに関心を寄せて、自分なりに深めてみたらどうかという思いで行っている。創作劇を観た方のアンケートでここがよかったなどの声が伝わってくるので、そこから知れるかなと思う。

(2) 「未来を創ろう！「エシカル消費」！」（新潟市消費者協会新潟支部）の審査

(団 体) 事業概要説明

(永田委員) エシカル消費がいまひとつわからない。エシカル消費が男女共同参画の形成になぜ寄与するのかをもう一度説明してほしい。

(団 体) エシカル消費とは、年齢、性別に関係なく誰もが自由に取り組むことができる消費行動。今の世の中はまだ男性優位な部分が多々あると思うが、エシカル消費では男女関係なく取り組める行動なので、そういう所が男女共同参画に合致するのではないかと考えている。

(塩沢委員) エシカルは倫理的という意味があると思っているが、エシカル消費の定義というよりは、事業そのものの目的がよくわからなかった。貴協会作成のエシカル消費教材は市消費生活センターの委託事業の中で行ってきたものか、県消費者協会と共同で作成する DVD とあるがそれはもうできているものか教えてほしい。また、今回の応募は事業化できるか検討するためであり、講座開催後のアンケート調査の分析結果を「新たな提案」として事業主催者へ提出するとのことだが、この2点についてもよくわからない。この協働事業で新たな DVD を作成して、事業主催者に提供したいと思っている、という理解でよいのか。今まで市消費生活センターの委託事業で行ってきたのに、なぜ今年度は行わないのか。

(団 体) DVDはこの協働事業で制作するものではなく、すでに出来上がっているもので、最近、県消費者協会から配布されたもの。

(塩沢委員) エシカル消費教材や県消費者協会と共同作成の DVD は県内・新潟市内の出前講座で、事業化準備が整えば使用可能とのことだが、希望があればそれを貸し出すということか。

(団 体) 貸し出すというよりも私たちが講座に行ったときに使用するということ。

(塩沢委員) 事業化できるか検討するため応募したとのことだが、事業化とはどういう意味か。

(団 体) エシカル消費については市消費生活センターの委託で3年間行い、昨年度で終了した。当協会の事業として行っていきたいという意向があるが、今までそういうことを手掛けたことがなく、今回は今後の事業化の試案の意味も含めて応募した。

(塩沢委員) 講座開催後のアンケート調査の分析結果を新たな提案として本事業主催者に提出するとあるが、「主催者」は誰を想定しているのか。

(団 体) この協働事業の主催者である市（アルザにいがた）を考えている。

(石原委員) この協働事業への応募は今回が初めてか。

(団 体) 今回、初めて応募した。

(3) 「夫婦の形をアップデート ～2人の笑顔が家族のベース～」（ファザーリング・ジャパンにいがた）の審査

(団 体) 事業概要説明

(石原委員) 今、メンバーの中で新潟市内の方の割合はどれくらいか。

(団 体) ファザーリング・ジャパン自体はNPO法人化し、東京に事務所があるが、にいがたの組織は任意団体で30人弱いる。新潟市や村上市、長岡市など県内にちらばっているような形でやっている。

(笹川課長) 人数は1・2回目とも定員が10組だが、これ以上定員を増やすことはできないか。

(団体) 定員は会場の大きさにもよると思うが、昨年、横越地区公民館で開催した時は、コロナ下で間隔を空けるため、10組の定員とした。もう少し広い会場があれば、定員を増やしてもよいと思っている。昨年は予算的なこともあり、参加費1,500円で行ったが8組参加してくれた。できるだけ無料で行えたらと考えていたので、今回、この協働事業に応募した。

(笹川課長) 1回目の全体のプログラムでは、夫婦で話をする機会も設けるとあるが、その進行も全体の先生が行うのか。

(団体) 基本的には私が進行を行おうと思っている。はじめに「いい夫婦の日」ということで私の方からでパートナーシップの考え方などを伝えた後に、講座の最後に5分くらい感想など簡単な会話ができればと考えている。

(多田委員) 小学校の授業参観などでパパは仕事、参観はママが行くものというバイアスがまだまだあると感じるとのことだが、それについて参加者にどのように気づいてもらうのかということがとても大事だと思うが、そのための工夫を教えてください。

(団体) 特に2回目に関して、わくわくエンジンは子どもや家族の好きなことを知るという内容。私たちが北区のパパスクールで実施しているように、パパが園や学校で子どもがどんなことをしているのかを知ることが大事だと思う。それを家に持ち帰ることが継続したつながりになると思うので、家族で互いのことをもっと知って、最後にワークシートなど、振り返って話せるものを用意するつもりでいる。家に帰っても会話が続くような内容を考えている。

(高橋委員) この事業は今回、初めての開催ではないですね。

(団体) 「夫婦ふれあい整体教室」は初めてではないが、協働事業では初めて行う。2回目のプログラムは初めて行う。

(高橋委員) 参加者が集まるのかなと思うのだが、前に行った時の参加者は多かったか。

(団体) その時は参加者8組だった。来ることができないけれど参加したいという方もいたので、今年もう一度やりたいと思っていた。1回目のプログラムを昨年度、実施する時はどれくらい参加があるのかと思っていたが、思っている以上に反響があった。悩んでいる方はたくさんいるのだなと潜在的なニーズを気づけたので今回、協働事業に応募した。

(4) 「防災カフェ in にいがた」(わいわい夢工房)の審査

(団体) 事業概要説明

(笹川課長) 3月11日の震災の追悼セレモニーを「男女共同参画の視点で考える」とはということなのか教えてください。

(団体) 男女共同参画の視点でと今までそれを大きく言ってきたが、生活者の誰もが自分の身の回りのことができるよう、性別に関係なく子どもの時から行くことが大切である。そのことを意識付けるために、前半に行う講演を、これからどうしたらよいかということを考えるきっかけとしてもらい、講師の方に男女共同参画に触れてもらい、私からも後の締めで必ず言葉として入れている。追悼セレモニーを外して講演だけでは大勢の方に来ていただくことが難しい。男女共同参画で防災を考えようという硬い方は学習会の方で行っているので、

硬軟両輪の全体のバランスで行っている。スタッフも増え、セレモニーを大きな舞台を行うことで、プロの音響や照明の方の力を借りずに女性たちの力で開催できるようになった。女性の連帯感が生まれているので、ここは無くしたくないという思いがある。

(塩沢委員) 私も女性の立場での防災減災はとても大切だと思っている。自治会で寝たきりの方を抱えるご家族の方から話をお聞きしたことがあるが、災害弱者と言われる方たちをどうするかということは防災行政の中でも問題になっていることと思う。自治会や地域でこの防災カフェのようなものを行う必要があるのではないか。直接、自治会にお願いしても断られるかもしれないので市の防災課や男女共同参画課、地区事務所などを介して広報すれば、自治会を通して防災カフェに参加することができるのではないか。

(団体) それも何回か行っていて、中央区の会場で行う際、その近辺のハザードマップを用意し、中央区総務課に自治協議会の会議がある時にチラシを配付して、周辺の町内の方に働き掛けてほしいとお願いしたことがある。しかし、チラシを配付してもらった途端、新型コロナで中止になったり、東区でも回覧板でチラシを回す予定だったが、新型コロナで中止になったりした。また、中央区では参加された方が座学で提供したレシピをもとに社会福祉協議会と地域の茶の間で相談して開催してくれた所があった。

(審議非公開)

5 その他

(事務局) 次回の運営委員会は10月頃の開催を予定しているが、あらためて各委員の日程を調整のうえ案内する。